

■2011年7月13日(水)UPCアリーナ■観衆2500名■15:00開始 17:32終了
 ■天候=快晴 31度■主審=ハンス・ヘニング(独連盟)

カナダ	7	10	0	14=31
日本	7	7	6	7=27

【得点経過】

1Q	05:38	カナダ	TD	フォールズーポイントブライアント2ヤードパス(ハユラルキック)	7-0
	02:14	日本	TD	丸田1ヤードラン(青木キック)	7-7
2Q	01:29	カナダ	TD	スティーブンス4ヤードラン(ハユラルキック)	7-14
	00:32	日本	TD	高田一古谷15ヤードパス(青木キック)	14-14
	00:01	カナダ	FG	ハユラル32ヤード	17-14
3Q	05:29	日本	FG	青木23ヤード	17-17
	01:30	日本	FG	青木29ヤード	17-20
4Q	10:02	カナダ	TD	ウォルターズ3ヤードラン	24-20
	05:38	日本	TD	末吉2ヤードラン(青木キック)	24-27
	03:31	カナダ	TD	ウォルターズ1ヤードラン(ハユラルキック)	31-27

【チーム記録】

	カナダ	日本
得点	31	27
第1ダウン	17	17
ラッシュ	34-131	23-125
パッシング	197	224
回数-成功-INT	21-14-1	34-20-1
総攻撃獲得距離	56-323	58-349
ファンブル-リターンヤード	0-0	0-0
パントリターン	1-0	0-0
キックオフリターン	5-152	6-128
インターセプトリターン	1-1	1-6
パント回数-平均	3-44.0	2-49.0
ファンブル-ロスト	3-0	1-0
反則-罰退距離	3-22	3-20
ボール所要時間	24分30秒	23分30秒
第3ダウン効率	9回中3回	11回中4回
第4ダウン効率	2回中1回	3回中1回
レッドゾーンスコア効率	5回中4回	5回中5回

フランス代表スターティングメンバー

[攻撃]

QB	3	マイケル・フォールズ
RB	39	マイケル・ポイントブライアント
RB/TE	35	デイビッド・スティーブンス
WR	86	スコット・ヴァルバーグ
WR	84	シャマード・チャンバース
TE/WR	80	ジャミーク・マーリー
OL	65	ジョシュ・ブットリル

OL	61	マット・ノーマン
OL	62	ダン・ベッダーマン
OL	68	リード・アレグザンダー
OL	66	ザック・ポラーリ
K	5	リリン・ハユラル
[守備]		
DL	93	ブライアン・ギューバート
DL	95	ジェイク・トーマス
DL	96	ジョシュ・シモンズ
DL/LB	99	マイケル・ジャン・ルイス
LB	55	ペーター・キャリエール
LB	50	スティーブ・フォーロ
LB/DB	51	アレックス・デバルート
DB	20	サミー・オクプロ
DB	28	マキシメ・ビルベ
DB	49	ジュリアン・ハメル
DB	21	トロイ・アダムス
P	5	リリン・ハユラル

日本代表スタートメンバー

[攻撃]

QB	8	高田 鉄男	パナソニックインパルス
RB	29	丸田 泰裕	鹿島ディアーズ
WR	1	木下 典明	オービックシーガルズ
WR	11	前田 直輝	鹿島ディアーズ
WR	17	小川 道洋	IBM ビッグブルー
TE	87	大矢 祐嗣	富士通フロンティアーズ
OL	67	村井 雄太	鹿島ディアーズ
OL	72	村上 崇就	IBM ビッグブルー
OL	73	谷口 祐二	パナソニックインパルス
OL	75	宮本 士	オービックシーガルズ
OL	77	平本 晴久	元アサヒ飲料チャレンジャーズ
K	15	青木 大介	鹿島ディアーズ

[守備]

DL	13	山中 正喜	パナソニックインパルス
DL	43	脇坂 康生	パナソニックインパルス
DL	92	西川 岳志	鹿島ディアーズ
DL	93	紀平 充則	オービックシーガルズ
LB	2	古庄 直樹	オービックシーガルズ
LB	10	東 健太郎	パナソニックインパルス
LB	45	鈴木将一郎	富士通フロンティアーズ
DB	14	藤本 将司	オービックシーガルズ
DB	21	加藤 公基	鹿島ディアーズ
DB	22	今西 良平	パナソニックインパルス
DB	24	佐野 忠也	鹿島ディアーズ
P	15	青木 大介	鹿島ディアーズ

【記者会見コメント】

◎森清之日本代表ヘッドコーチ

—残念ながら4回連続の決勝進出を逃したが、カナダと対戦した印象は？

「悔しい。選手らの取り組みは誇りに思うし、コーチを含めたスタッフは全力を尽くしたと思う。敗戦はヘッドコーチの私に責任がある。カナダは二日前のオーストリア戦で数多くの反則を犯していた（20回）のに、今日はプレーに集中し続けていて、見違えるような好チームだった。フィジカル面でも我々を少しずつ上回っていたと思う」

—3位決定戦のメキシコ戦に向けた抱負は？

「勝利するために、気持ちを切りかえて臨みたい」

◎日本代表ゲームMVP RB 丸田泰裕（鹿島ディアーズ）

—カナダに対する印象は？

「森ヘッドコーチの指摘通り、我々よりフィジカル面で上回っていたと思う。自分自身は力を発揮できたと思うが、それだけに悔しい」

◎ラリー・ヘイラー カナダ代表ヘッドコーチ

—優勝決定戦進出を決めた気持は？

「素晴らしいゲームで、とてもエキサイティングだった。日本のフットボールには心から敬意を表したい。フィルム分析をすると、コーチ陣の準備の素晴らしさが伝わってきたし、選手らが最後までハードにプレーする姿勢は印象的だった。素晴らしい対戦相手とゲームできたことを喜びたい」

—米国代表に対する抱負は？

「米国はフットボールの『首都』を自負するチーム。この瞬間を待ち望んでいた」

◎カナダ代表MVP RB デイビッド・スティーブンス

—日本代表守備に対する印象は？

「すごくタフな印象だ。ネバー・ギブ・アップの精神をプレーを通じて感じ取ったが、我々もフィジカルに取り組むことができたと思う」

—米国戦に向けては、どう立ち向かうか？

「待ち望んでいた対戦だ。米国はフットボールのグレート・ネイション。フィジカルに戦い抜きたい」